

令和7年度 第4回 静岡県立浜北西高等学校 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和8年2月4日(水) 午後1時30分から2時45分まで

2 場所 静岡県立浜北西高等学校 会議室

3 出席者(委員、敬称略)

梅林欽哉(元小学校・中学校管理職)

阿部卓也(静岡県議会議員)、横田みどり(横田整形外科婦長)

金島徹(浜名区調整官)、松本幸範(浜北国際交流協会副会長)

学校関係者

野澤博文(校長)、小室桜子(副校長)、榎本好孝(教頭)、中村明江(事務長)

4 議事

(1) 開会

(2) 校長挨拶

探究発表会との同時開催を予定していたが、インフルエンザの流行により探究発表会を延期することとなった。委員の皆様には本日は、学校関係者評価をお願いしたい。

(3) 協議

ア 令和7年度学校関係者評価に関する意見交換

学校運営協議会委員からの意見や質問は以下のとおり。

○確かな学力の育成について

- ・進路指導に関して、大学入試は学校推薦型選抜や総合型選抜など多様な方法があり、自身の偏差値よりも高い大学を狙う戦略を考えるべきである。
- ・県立高校では、均一化された生徒が入学してくる中でどう特色を出していくのか、その中で探究学習は特長の一つ、学習意欲を掻き立てる分野として先生方の腕の見せ所でもある。個別の指導対応も必要である。
- ・1, 2年生の内からの指導も必要である。春休み期間中にオープンキャンパスを開催している大学もあるため早期に参加を促したい。
- ・公立中学校が部活動縮小化を進める一方で、私学が部活動に力を入れている。部活動の雰囲気为学校人気に大きく影響しているため、公立高校の特色化が望まれる。
- ・学力に関しては進路実績等で評価せざるを得ない面があるが、本来は自分らしくよりよく生きていくことが重要であり、そのために必要な学力をどう身に付けていくのが大切である。
- ・高校生にできることを尊重してほしい。外国人におびえないで積極的に交流を続け、人材育成していただきたい。

○時を守り、場を清め、礼を正す」指導と規範意識の醸成について

- ・今年は大小含め交通事故が多く、ヘルメット着用率向上が課題である。探究学習で格好いいヘルメットを開発したらどうか。高校生はヘルメット着用をダサイ、髪型が崩れてしまう等の理由で否定的に捉えている。
- ・そもそも自転車は大変危険な乗り物であるという認識が足りない。この浜北地区で自転車に乗ること自体、危険であることを知らせたい。

- ・警察等が行う交通安全教室は行っているか？→学年単位で行っているが全校生徒ではない。年に1回は毎年実施したい。
- ・奉仕の精神を養うことは大切なことであるが、日本人の常識が世界の常識とは限らない。日本人はゴミ拾いを美化して捉える部分があるが、ゴミ清掃の仕事もあり、その仕事を奪うという考え方もある。良いか悪いかは別として考えてほしい。

○国際理解教育の推進について

- ・タイ、スリン県から戻ってきたが、浜北西高校のタイ訪問が中止となり、先方は残念がっていた。子どもたちと紙飛行機を飛ばしたり、けん玉を使って交流をした。後ほど写真を提供する。

○大学や企業・地域・保護者との連携や協働活動、貢献活動、広報活動について

- ・部活動は重点的に取り組んでいただきたい。生徒減につながってしまうことも懸念されマイナス評価である。

○業務改善の推進について

- ・事務室の仕事ぶりや校務員の環境整備の有難さを生徒に伝えたい。事務や用務員の方は意外と生徒のことを知っており、生徒には多くの人に見守られていることの自覚を促したい。

(4) その他

ア 「いっちゃお！」制度について

危険箇所をスマートフォンで撮影送信し、改善につなげていく浜松市の道路損傷通報システムのことである。生徒の通学路保全、危険個所の把握、生徒自身の注意喚起にもつながるため、ぜひ活用をお願いしたい。

イ 令和7年度「総合的な探究の時間1・2年生合同発表会」延期のお知らせ

- ・2月4日（水）→2月10日（火）へ延期する。

(5) 閉会